

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について

海南市立第三中学校

令和3年5月27日（木）に中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」における調査と本校生徒の調査結果の概要は以下のとおりとなっています。今後は、本調査結果を踏まえ、学習指導の一層の工夫・改善を行うとともに、一人ひとりの生徒の学力向上に向けた取組をさらに進めていきます。

I. 調査の概要（文部科学省、国立教育政策研究所資料から）

1. 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の内容

○教科に関する調査（国語、数学）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 調査結果に関する留意事項

本調査は、幅広く生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しています。しかし、実施教科が国語、数学の2教科であることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要だと考えています。また今回示した数値等は、調査結果のすべてを表すものではありません。

II. 教科に関する調査の結果

1. 国語

学習指導要領の領域等	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		本校	県 (公立)	全国 (公立)
話すこと・聞くこと	3	77.4	75.6	79.8
書くこと	3	54.8	54.0	57.1
読むこと	4	48.8	44.0	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	80.2	73.4	75.1

【全国の平均正答率を上回っている設問の出題趣旨の例 (本校平均正答率；全国との差)】

◇・・・相手や場に応じて敬語を適切に使う (54.8%；+14.5%)

◇・・・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する (71.0%；+12.3%)

【全国の平均正答率を下回っている設問の出題趣旨の例 (本校平均正答率；全国との差)】

◆・・・文脈の中における語句の意味を理解する (30.6%；-13.1%)

【正答率の低い設問の出題趣旨の例 (本校平均正答率；全国平均正答率)】

◆・・・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ (21.0%；20.5%)

2. 数学

学習指導要領の領域等	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)		
		本校	県 (公立)	全国 (公立)
数と式	5	63.5	62.7	64.9
図形	4	49.6	48.7	51.4
関数	3	57.5	53.9	56.4
資料の活用	4	52.4	53.0	53.8

【全国の平均正答率を上回っている設問の出題趣旨の例 (本校平均正答率；全国との差)】

◇・・・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる (38.7%；+8.4%)

◇・・・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる (32.3%；+4.6%)

【全国の平均正答率を下回っている設問の出題趣旨の例 (本校平均正答率；全国との差)】

◆・・・相対度数の必要性と意味を理解している (29.0%；-7.8%)

◆・・・整式の加法と減法の計算ができる (69.4%；-7.7%)

Ⅲ. 生徒質問紙調査の結果（抜粋）

肯定的な評価をした生徒の割合（％）

	質問事項	本校の割合 (%)	全国との差 (%)
国・数・英に対する 関心・意欲・態度	国語の勉強は大切だと思いますか。	96.9	+5.3
	国語の勉強は好きですか。	62.5	+1.7
	数学の勉強は大切だと思いますか。	85.9	+1.8
	数学の勉強は好きですか。	56.3	-2.8
学習状況・ 家庭学習等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の予習・復習を含む)	82.8	+19.3
	学校での授業時間以外での学習時間が1時間以上(塾・家庭教師含む)	78.1	+2.2
	家で1日に30分以上の読書をしている(教科書・漫画・雑誌を除く)	34.4	+5.5
基本的生活習慣	朝食を毎日食べる。	93.7	+0.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝る。	84.4	+4.6
社会に対する興味・関心	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	48.5	+4.8
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。	37.5	-6.3
学校生活等	学校に行くのは楽しいと思いますか。	93.7	+12.6
自尊感情・規範意識	自分にはよいところがあると思いますか。	79.7	+3.5
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100	+5.0

Ⅳ. 今後の取組について

本校では、例年「全国学力・学習状況調査の結果分析と改善点」と題した研修会を校内で実施しています。具体的には、各担当教員が結果分析を実施し、学習指導の工夫・改善等を全教職員で共有するものです。

以下は、今回の結果からまず指導のポイントとする点です。

- 国語
 - ・新しく出合った言葉を複数取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を捉える学習活動を通して、場面の展開や描写などを意識して読み進められるように指導していきたい。
 - ・文学的な文章の学習を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導していく必要がある。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにできるように指導していきたい。
- 数学
 - ・「数と式」の領域では、全国を下回っているので、改めて基礎・基本の計算問題に取り組む、振り返りの機会を取り入れながら指導していきたい。
 - ・全国と比べ、記述式の正答率が上回っていることが大きな発見であったので、今後も「自分の考えを書く機会」の確保、「考え方を共有する時間」を大切にしていきたい。選択式の問題では、根拠を持ち、選択肢を考えるという広い視野を持った学習ができるように指導していきたい。
- 生徒質問紙
 - ・教科の授業を好きになれるように、例えば三中タイムの時間などの時間をさらに充実した機会となるよう、また、学習の際には少しでも「できた」と思える機会を増やしていくこととする。
 - ・これからは、コロナ禍でもできる地域学習や地域とつながる機会をできる限り増やし、地域社会について考える機会を増やしていく。